

祝祭日には国旗を掲揚しましょう

敬神尊皇 黎 REIMEI 明 報恩感謝

監修/日刊ひぐらし 渋谷区本町1-30-18-107 <http://www.higurashi.net/> 第0020号
護國青年會議 <http://www.gokoku.net/> 発行人/山本修三 編集人/戸出蒼流 平成17年12月28日



祝 天皇誕生日

【天皇陛下のお言葉】誕生日にあたり皆さんの祝意に感謝します。今年も皆一人一人にさまざまな喜びや苦労があったことと思います。各地で大雪が降り厳しい冬になり人々の生活を心配しています。どうかくれぐれも体を大切に元気に良い新年を迎えられるようお願いしています。



= 来年こそは愛のある日本を =

今年の世相を表す漢字に「愛」が選ばれた。報道によれば紀宮様のご結婚や、愛・地球博などの明るい話題の他、卓球の福原愛選手の中国での活躍ぶりや、児童が犠牲となる事件が相次ぐ中、愛のある世の中をと願う声も含まれているという。

内親王殿下という周囲から注目されるお立場にあらせられながら、愛を育まれて来られた紀宮様のご成婚は、国民として大変喜ばしいことで「奉祝」のひと言に尽きる。しかし、愛・地球博も福原愛も愛のある世の中をと願う声もこじつけ若しくはイメージの良い言葉が良いとする希望に過ぎず、世相を表した言葉とは言えないのではないだろうか。この一年を振り返り「愛」のある出来事を挙げると言われて即座に浮かぶ出来事は、内親王殿下の御結婚以外思い当たらない。



愛にはさまざまな形と対象がある。肉親への愛、祖先への愛、隣人への愛、弱者への愛、故郷への愛、国家への愛などがあり、対象が異なれば表現の方法も当然異なってくる。通常の間人ならば前述の対象には相応の愛を注ぐものだが、そうでない輩が国の内外に存在するから厄介である。例えば隣人(国)への愛ということからすると、今春の支那や韓国による反日暴動は、愛を喪失した顕著な例である。自国民には真実を隠蔽し、失政や圧政の矛先が党や政府に向けられるのを恐れ、歴史を捏造して「悪いのは日本だ」と民衆を煽動し、日本人や日本の企業及び施設に不法な危害を加えたのは支那であり、韓国である。隣人(国)への愛など微塵も持たない支那人や朝鮮人に最早言葉は要らない、実力行使のみであると考えるが、国内に支那や韓国に阿る政治家や官僚が跋扈する様を見ていると悩みは尽きない。

支那や韓国による国家ぐるみの反日デモと時を同じくして、国内ではJR福知山線の脱線事故により死者107名、負傷者450名以上の大惨事が起きた。小紙13号で同志が指摘しているように、この事故は「タガ」の緩みに起因するところが大である。一方で彼等に人命を預かる職業人としての意識と職業への愛があったならば未然に防げた筈である。職業への愛と言え、最近問題になっているマンションやホテル建設での耐震偽装事件がある。テレビでの質疑や喚問を見る限りでは全ての関係者が第一義としているのがコストであり、人の命や財産など二の次三の次としていることが露呈する。確かに格安の物件に無条件で飛び付いた購入者に非が無いのかと言えそうではない。しかし、関係者の誰か一人でも建設に携わる者としてのモラルとユーザーへの思いやり、そして職業への愛を持っていたならばこのような事件は起こる事は無かったと断言する。

嫌な事件が相継ぐ中、この1ヶ月だけで3人の児童が鬼畜の手に掛かった。11月22日には広島県で下校途中の小1の女児がペルー人の男によって殺害されダンボール箱に入れられ放置された事件が起こり、12月2日には栃木県今市市に住む小1の女児が茨城県の林道脇で遺体となって発見された。胸などに複数の刺し傷があり、栃木・茨城両県警は合同捜査本部を設置し捜査しているが、犯人は未だに捕まっていない。わずか10日の間に小1の女児が鬼畜によって殺害されるという痛ましい事件が続いた後、12月10日には京都府宇治市で小学校6年生の女児が、塾の教室で23才の塾講師に首や顔などを刺され殺害されるという残虐な事件が起きた。これらの事件を振り返り、親御さんの心中を思うと目頭が熱くなる。親御さんにすれば、あらん限りの愛を注いできた年端も行かない我が子の生命を、問答無用に奪った犬畜生は八つ裂きにしても足りない気持ちであろう。

殺伐とした事件が続発し、愛を喪失した感のある平成17年の日本であったが、国民の一人一人が日本国に生まれて良かったと思い、日本国を誇りに思い、日本国を愛する気持ちを失わなければ、来年こそは愛ある日本国が構築されることだろう。

寒さ厳しき折から御自愛に専念され良い新年を迎えられますよう御祈念申し上げます。

編集人